

# 家族みんなで 防災会議をひらこう！

災害時、家族があわてずに行動できるように、ふだんから次のようなことを話し合い、それぞれの分担を決めておきましょう。



- 家の中でどこが一番安全か
- 救急医薬品や火気などの点検
- 幼児や老人の避難はだれが責任を持つか
- 避難場所、避難路はどこにあるか
- 避難するとき、だれが何を持ち出すか、非常持出袋はどこに置くか
- 家族間の連絡方法と最終的におち合う場所はどこにするか
- 昼の場合、夜の場合の家族みんなの分担をはっきり決めておく
- 避難カードを作成し、各自携帯しましょう
- 防災訓練にさそい合って積極的に参加し、防災行動力を身につけましょう

**Disaster Prevention and Disaster Response Display**

徳島県立防災センター

〒771-0204・徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165・TEL 088(683)2000・FAX 088(683)2002

# 家の中や家のまわりの安全点検を！

地震や風水害などの災害時には、住み慣れたわが家も危険がいっぱいです。

家の中や家のまわりの安全点検を行い、必要な補強などを行っておきましょう。

## ○家のまわり

- 屋根や窓ガラスの補強や飛散防止
- ブロック塀や門柱などの補強
- ベランダの植木鉢などの落下防止
- 雨どいや排水口の点検
- 風で飛ばされやすいものは、屋内へ
- プロパンガスの転倒防止



## ○家の中

- 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には倒れやすい家具などを置かない
- 家具の転倒や落下を防ぐ
- 安全に避難できるように、出入り口や通路にはものを置かない
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオを準備しておく
- 断水に備えて、飲料水や浴槽などに水を確保しておく
- 避難できるように非常持ち出し品を準備しておく

**Disaster Prevention and Disaster Response Display**

徳島県立防災センター

〒771-0204・徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165・TEL 088(683)2000・FAX 088(683)2002

# 災害に備えて 非常持出品の用意を！

いざというとき、素早く逃げ出せるように、日頃から非常持出品を備え、家族みんなで置き場所などを相談しておきましょう。非常持出品の収納には、両手の使えるリュック型が最適です。以下は、非常持出品の例です。わが家に応じたものを準備しましょう。

## ○赤ちゃんやお年寄りがいる場合

- 粉ミルク
- 紙おむつ
- タンカ
- ほ乳びん
- 常備薬
- 看護用品



## ○その他

- 現金
- 証書類
- 懐中電灯
- ビニールシート
- めがね
- 印鑑
- 携帯ラジオ
- マッチ、ライター
- コップ
- さらし
- 預金通帳
- 電池
- ローソク
- 大小のポリ袋
- ナイフ
- ロープ

## ○非常食（家族3日分程度）

- カンパン
- 缶詰（缶切り）
- チョコレート
- 飲料水
- ビスケット



## ○救急セット

- 消毒薬
- 傷薬
- 包帯
- ばんそうこう
- 脱脂綿
- 家族の常備薬
- 生理用品
- 胃腸薬



## ○衣類

- セーター
- 下着
- タオル
- ジャンパー
- 軍手

# 自主防災組織を つくろう！



- 自主防災組織とは、住民一人ひとりが「自らの命は自ら守る」そして、「自らの地域は自ら守る」という考え方方にたって、自主的に防災活動を行う組織のことを言います
- 自主防災組織は、自治会、町内会、青年団、婦人会などの地域活動の組織を生かして結成されるのが一般的です
- 自主防災組織が既に結成されている地域にお住まいの方は、積極的に活動に参加しましょう
- 組織がまだ結成されていない場合は、地域の自治会や町内会などの活動の一環として結成するなど、ぜひとも自主防災組織を結成して頂きたいものです

## 平常時の活動

- 防災に対する心構えの啓発
- 災害発生の未然防止のための地域活動  
(避難場所等の把握など)
- 災害発生時の活動を習得するための活動  
(消火、避難などの訓練)
- 災害発生時の活動に備えるための活動  
(防災資機材や備蓄品の管理など)



## 災害時の活動

- 情報収集伝達活動  
(被害情報等の収集伝達、救援情報等の周知)
- 初期消火活動  
(消火器、水バケツ等による消火活動など)
- 避難誘導活動  
(安否確認や介護が必要な人への救助など)
- 救出救護活動  
(負傷者救護など)
- 給食給水活動  
(備蓄品・救援物資の避難所への運搬・分配)

## 一自主防災組織の活動一

これは、自主防災組織活動の例です。  
自治会や町内会などの地域の実情に合った  
組織や活動内容とすることが大切です。



**Disaster Prevention and Disaster Response Display**

# 防災対策コーナー

A-1



A-2



A-3



A-4

